

平成24年3月12日

玄海及び川内原子力発電所への移動式大容量発電機の搬入について

玄海及び川内原子力発電所では、福島第一原子力発電所の事故を踏まえた緊急安全対策を実施するとともに、更なる信頼性向上の観点から、「移動式大容量発電機の導入」・「重要機器の防水対策」・「海水ポンプ等の予備品確保」・「水タンクの補強」の安全対策を実施しているところです。

この対策のうち、移動式大容量発電機については、本日、両発電所への搬入を行いました。搬入後、マニュアルの整備や訓練等の実施を経て、導入完了となります。

今後も、原子力発電所の安全性向上対策を着実に進めてまいります。

以上

【 移動式大容量発電機 】

全交流電源を喪失した場合に、海水を使った熱交換による冷却を行うポンプ等の電源を確保するため、移動式大容量発電機を各原子炉に1台ずつ導入。



主な仕様

全 長 : 約14m
車両幅 : 約3m
車両高 : 約4m
重 量 : 約44トン
型 式 : 空冷式ガスタービン駆動
容 量 : 4000kVA
燃 料 : A重油